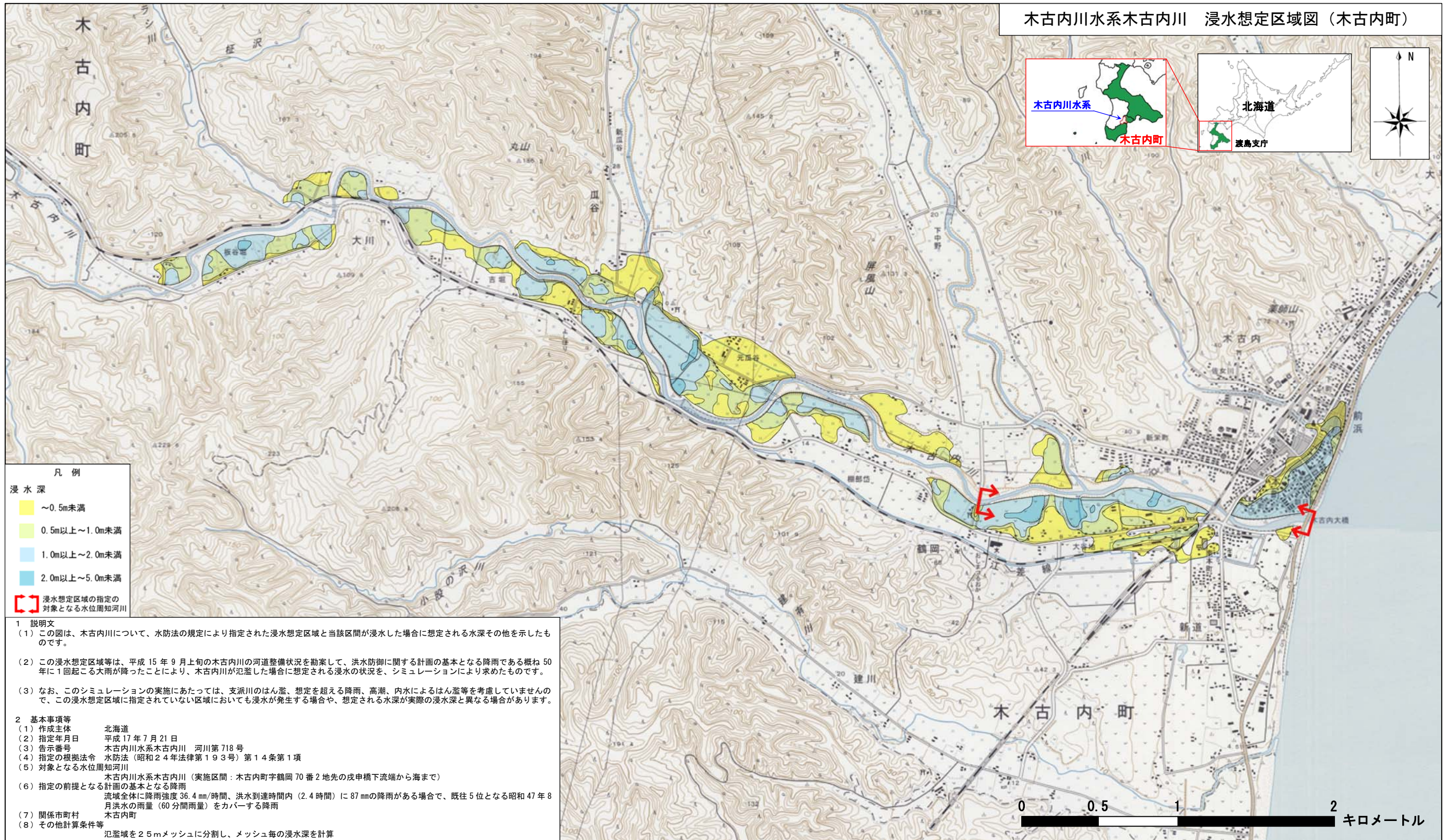


木古内川水系木古内川 浸水想定区域図（木古内町）



凡例

浸水深	～0.5m未満
	0.5m以上～1.0m未満
	1.0m以上～2.0m未満
	2.0m以上～5.0m未満
□	浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川

1 説明文

- この図は、木古内川について、水防法の規定により指定された浸水想定区域と当該区間が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。
- この浸水想定区域等は、平成15年9月上旬の木古内川の河道整備状況を勘案して、洪水防衛に関する計画の基本となる降雨である概ね50年に1回起こる大雨が降ったことにより、木古内川が氾濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
- なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支派川のはん蓋、想定を超える降雨、高潮、内水によるはん蓋等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体	北海道
(2) 指定年月日	平成17年7月21日
(3) 告示番号	木古内川水系木古内川 河川第718号
(4) 指定の根拠法令	水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項
(5) 対象となる水位周知河川	木古内川水系木古内川（実施区間：木古内町字鶴岡70番2地先の戊申橋下流端から海まで）
(6) 指定の前提となる計画の基本となる降雨	流域全体に降雨強度36.4mm/時間、洪水到達時間内（2.4時間）に87mmの降雨がある場合で、既往5位となる昭和47年8月洪水の雨量（60分間雨量）をカバーする降雨
(7) 関係市町村	木古内町
(8) その他計算条件等	氾濫域を2.5mメッシュに分割し、メッシュ毎の浸水深を計算

お問い合わせ先 北海道渡島支庁 函館土木現業所 事業部治水課 TEL 0138-47-9641

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。（承認番号 平19総複、第1001号）

平成20年4月 北海道渡島支庁 函館土木現業所